

平成29年度病害虫発生予報第10号

平成29年12月27日
愛知 県

野菜

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への 影響
キャベツ	コナガ	やや多い	県全域	12月下旬の発生量はやや多い	+
トマト (施設)	疫病	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	灰色かび病	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並 1月の日照時間は平年並が多い	± ±～-
	葉かび病	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並 1月の日照時間は平年並が多い	± ±～-
ナス (施設)	灰色かび病	やや少ない	県全域	12月下旬の発生量はやや少ない 1月の日照時間は平年並が多い	- ±～-
	ミナミキイロ アザミウマ	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	ハダニ類	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並	±
キュウリ (施設)	べと病	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並 1月の日照時間は平年並が多い	± ±～-
	うどんこ病	少ない	県全域	12月下旬の発生量は少ない	-
	灰色かび病	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並 1月の日照時間は平年並が多い	± ±～-
	ミナミキイロ アザミウマ	少ない	県全域	12月下旬の発生量は少ない	-
イチゴ (施設)	灰色かび病	やや少ない	県全域	12月下旬の発生量はやや少ない 1月の日照時間は平年並が多い	- ±～-
	うどんこ病	やや少ない	県全域	12月下旬の発生量はやや少ない	-
	ハダニ類	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並	±

・防除対策

[キャベツ・コナガ]

春先になるとコナガの生育が早くなり、発生量が増加するため、今のうちにアファーム乳剤やフローバックDFなどで防除しましょう。収穫が終了したら、残渣を速やかにすき込み、発生源を除去しましょう。

・留意事項

イチゴのハダニ類の発生量は平年並ですが、多発しているほ場もあります。春先、気温が高くなると多発しやすくなります。多発すると防除が難しくなるので、ハダニ類を見つけた場合は早めに防除しましょう。天敵を導入している、あるいは今後導入を予定しているほ場では、それらに影響の少ない農薬を選定してください。

トマトでは、すすかび病の発生量が多いほ場があります。多湿条件下で多発するので、湿度管理を適切に行いましょう。農薬は葉裏にもかかるよう、丁寧に散布しましょう。トマト黄化葉巻病の発生量は多くはありませんが、発病株は伝染源となるので、見つけ次第抜き取り、適切に処分しましょう。タバココナジラミは低密度でもトマト黄化葉巻病の病原ウイルス（TYLCV）を媒介します。タバココナジラミの増殖が盛んになる前に防除を徹底しましょう。

キュウリでは、ミナミキイロアザミウマがキュウリ黄化えそ病の病原ウイルス（MYSV）を媒介するので、防除を徹底しましょう。発病株は伝染源になるので、見つけ次第抜き取って適切に処分しましょう。

参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方気象台12月21日発表）

〈予想される向こう1か月の天候〉

平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並の確率50%です。2週目は、平年並の確率50%です。3～4週目は、平年並または低い確率ともに40%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕	低い	: 40%	平年並	: 30%	高い	: 30%
〔降水量〕	少ない	: 40%	平年並	: 40%	多い	: 20%
〔日照時間〕	少ない	: 20%	平年並	: 40%	多い	: 40%